

1. 評価結果概要表

【評価実施概要】

事業所番号	0572510667
法人名	社会福祉法人 大内さつき会
事業所名	グループホームたいよう
所在地	秋田県由利本荘市岩谷町字ハケノ下80-2 (電話) 0184-65-2933
評価機関名	財団法人秋田県長寿社会振興財団
所在地	秋田市御所野下堤5丁目1-1
訪問調査日	平成21年12月10日

【情報提供票より】 (21年11月 1日事業所記入)

(1) 組織概要

開設年月日	昭和 平成 16年 12月 1日
ユニット数	1 ユニット 利用定員数計 9 人
職員数	9 人 常勤 6人, 非常勤 3人, 常勤換算 6.4人

(2) 建物概要

建物構造	木 造り
	1階建ての ~ 1階部分

(3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	25,000 円	その他の経費(月額)	円	
敷金	有( 円) 無			
保証金の有無(入居一時金含む)	有( 円) 無	有りの場合償却の有無	有 / 無	
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり 1,000 円			

(4) 利用者の概要 (11月 1日現在)

利用者人数	9名	男性	2名	女性	7名
要介護1	4名	要介護2	1名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	名	要支援2	名		
年齢	平均 82.7歳	最低	64歳	最高	96歳

(5) 協力医療機関

協力医療機関名	由利組合総合病院 鈴木歯科医院
---------	-----------------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

豊かな自然に囲まれており、住宅地から離れているため、人通りや車の交通も少ない。その為、地域との交流や連携は難しい環境下であるが、同法人の施設等との交流・連携を図りながら「ゆっくり、一緒に、楽しく、豊に」という理念の下、入居者の穏やかな生活の支援に日々取り組んでいる。日々の声掛けや昔話の傾聴、ゲームや歌、散歩等を通じて入居者一人ひとりのできること、興味のあることを生活に活かしながら、張り合いや喜びのある日々を過ごせるように支援している。入居者一人ひとりのペースに合わせ、ゆったりとした時間の流れの中で生活しているホームである。

【重点項目への取組状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況(関連項目:外部4)
	前回評価で挙げられた食事の摂り方については、検食という形で、一人の職員のみが同じ食事を摂っていたが、現在は職員全員が入居者と同じ食事を摂りながら食卓を囲んでいる。
重点項目②	今回の自己評価に対する取組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価は全職員で実施し、評価の意義を理解し、評価を活かして、サービスの向上のため出来る事から改善に向けて取り組んでいる。
重点項目③	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	開設以来、運営推進会議は開催されていない。
重点項目④	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	隔月に1回、入居者の近況報告・金銭出納簿の報告と一緒に、要望・意見を促す用紙を送付している。また、ホーム内に「ご意見箱」を設置しているが、家族からの要望や苦情は出されていない。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	住宅地から離れ、人通りや車の交通も少ない場所の為、近隣の方々との交流は難しいが、同法人の特別養護老人ホームやデイサービスとの交流を図り、できる限りの取組みに努めている。

2. 評価結果（詳細）

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	入居者が地域の中でその人らしく暮らし続けることを支援するために、「ゆっくり、一緒に、楽しく、豊に」という事業所独自の理念を掲げている。		
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 運営者と管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	職員全員で理念を共有し、穏やかな生活の支援に日々取り組んでいる。		
<b>2. 地域との支えあい</b>					
3	5	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	住宅地から離れている為、近隣や地域との交流は難しい。その為、同法人の特別養護老人ホーム、デイサービスとの交流を行い、できる範囲での取り組みに努めている。		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	自己評価及び外部評価を実施する意義は理解している。自己評価は全職員で実施し、評価を活かして、サービスの向上のため出来る事から改善に向けて取り組んでいる。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	開設以来、運営推進会議は開催できていない。	○	開設以来、運営推進会議の開催が出来ておらず、新年度において会議を開催し、サービスの質の向上に活かすように取組まれることを期待する。
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	事業の運営等に関する疑問等は、随時、行政担当者に相談し、サービスの質の向上に取り組んでいる。		
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
7	14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	2ヶ月に1回、入居者の近況報告と金銭出納簿の写しを家族に送付し、報告している。		2ヶ月に1回という報告回数について、家族の希望を伺いながら実情に合った報告を期待する。
8	15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	隔月の近況報告と一緒に「要望・意見等記載用紙」を送付している。更に、要望等を出しやすいように、ホーム内に「ご意見箱」を設置しているが、家族からの要望や苦情は出されていない。		要望、苦情等は利用者・家族にとってもなかなか言い出せない場合も考えられる。設置するだけでなく、意見や苦情を出しやすい環境作りの工夫に期待する。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの職員が継続的に入居者を支援できるように、できるだけ職員の離職や異動を少なくして、入居者へのダメージを防ぐ配慮をしている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
10	19	<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	<p>グループホーム必須研修が主体となり、その他の研修の機会が少ないが、計画的に研修を受ける機会を確保するように検討している。</p>		<p>職員の経験やレベルに合った年間研修計画を作成することは、段階的な職員の育成に繋がるため、年間研修計画等の整備を期待する。</p>
11	20	<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>運営者は、運営者自身や管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	<p>地区のグループホーム連絡協議会を通じて、交流する機会を持ち、サービスの質を向上させていく取り組みをしている。</p>		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
12	26	<p>○馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう本人又は家族等と相談しながら工夫している</p>	<p>入居前のホーム見学や本人、家族と話し合う取り組みをし、本人が安心して、納得して入居出来るよう配慮している。</p>		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p>食事やレクリエーション等の日々の場面において、声掛けや昔話の傾聴をして、一緒に過ごしながら支えあう関係をつくっている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
14	33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ホーム内において、積極的に活動したい入居者が少ないが、本人の希望・意向を把握して、可能な限り利用者本位に努めている。		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
15	36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	家族との話し合いを主体に、その意見を職員会議のカンファレンスに反映させて介護計画を作成している。		
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	介護計画は期間ごとに見直しされており、入居者の状態が変化した際には、本人や家族の要望を取り入れながら現状に即した新たな介護計画を作成している。		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	同法人の特別養護老人ホーム・デイサービス等の事業所との交流・連携をし、ホームの多機能性を活かし、柔軟な取り組みを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
18	43	<p>○かかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等の利用支援</p> <p>本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医、かかりつけ歯科医、かかりつけ薬局等と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している</p>	<p>本人や家族の納得が得られたかかりつけ医との協力体制ができており、適切な医療を受けられる支援がされている。</p>		
19	47	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している</p>	<p>家族とかかりつけ医との話し合いをホームとして共有し、結果、看取りが出来ないこと、重度化した場合にホームができることを説明している。</p>		
<b>IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援</b>					
<b>1. その人らしい暮らしの支援</b>					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	<p>○プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	<p>「個人情報基本規程」を遵守し、個人情報の使用について、文書で説明と同意を得ている。入居者一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねない対応を職員間で徹底している。</p>		
21	52	<p>○日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	<p>積極的に活動したい入居者が少ないが、できる限り、一人ひとりのペースや希望に添う支援が行われている。</p>		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援</b>					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	入居者と職員が野菜の皮むきや盛り付け等を一緒に行っている。そして、一緒に食事をしながら声掛けをし、食卓を囲んでいる。		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めず、一人ひとりの希望やタイミングや健康状態に合わせて、入浴を楽しむように支援している	一日おきに入浴日としているが、一人ひとりの健康状態を確認の上、本人の希望・意思を伺い、利用者が入浴したいという時間帯での入浴の支援を行っている。		
<b>(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援</b>					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	ゲーム、歌、散歩等を通じて、入居者一人ひとりのできること、興味のあることを日々の生活に活かした支援を行っている。		
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	車に乗って出かけるだけでなく、日光浴や気分転換を考えた散歩を行い、戸外にでかける支援をしている。		
<b>(4) 安心と安全を支える支援</b>					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに努めている	鍵をかけることの弊害を理解しており、居室や日中玄関に鍵はかけていない。また、入居者が外出した際には、安全に配慮した見守りを行っている。		

外部評価	自己評価	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組みを期待したい項目)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	防火管理者を設置し、防災・避難訓練に努めている。災害発生時は、同法人の特別養護老人ホームと連携して、緊急連絡網の仕組みが整備されている。		
<b>(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援</b>					
28	77	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう状況を把握し、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	栄養士による献立を参考にし、入居者全員の食事摂取量・水分摂取量を把握しており、一人ひとりに対応した支援を行っている。		
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
29	81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や臭いや光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	大きな窓による採光が明るく、不快な音や臭いもなく、居心地のよい共用空間づくりの配慮がされている。また、入居者が季節感を感じられるような壁画等の装飾がされている。		
30	83	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	居室は入居者の馴染みの物や趣味の品物等が持ち込まれている。エアコン・換気扇・加湿器の設置で温度・湿度・空調等の調整が適切に行われ、入居者が居心地よく過ごせる配慮がされている。		

※  は、重点項目。